

要 望 書

習志野市長 宮本泰介様

2020年4月20日

新社会の会

藤崎ちさこ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、本市において様々な対応を実施して頂いていること、市長をはじめ市職員のみなさんのご尽力に、心より感謝申し上げます。

さて、2020年（令和2年）4月7日付けで、国が千葉県を含めた7都府県に対し、緊急事態宣言を発したことを受け、本市においても市立幼稚園・こども園（短時間児）・小・中・高等学校の休業がさらに長期化しています。

多くの共働き世帯では、保護者が仕事を休まざるを得ない、あるいは、子どもだけで留守番をさせて不安な中で仕事をしているという状況です。共働き世帯でも、子どもたちが在宅していることで、児童、保護者共にストレスをため込む生活が続いています。学習についての不安、運動不足、家庭の食費の増加、収入の減少など、市民のみなさんの負担が大変大きくなっています。

このような中、野田市では

- ・コロナ緊急経済対策で政府が児童手当1万円を加算するが、野田市独自施策として5千円上乗せする。
- ・休業要請に協力した飲食店には、協力金10万円支給する。

という決定をし、臨時議会で補正予算が成立しました。

又、多古町では、

- ・学校等の休業で、給食が無いことにより家庭の食費が増加していることに対し、「食費応援給付金」を支給する。

ことを決定しました。

習志野市においても、国の対策に上乗せする独自の対策を実施して頂くことを、お願い致します。

次に、市役所の「職場における対応」についてです。4月14日付で「新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大防止に向けた職場における対応について」、発表がありました。職員の感染を予防し職員の命を守るために、また、市役所がクラスターとならないために、必要な対応を実施して頂き、感謝しています。更なる取組みをお願いしたく、ご提案します。

- ・ 消毒用アルコール噴射ボトルの設置箇所を増やすこと。
- ・ 職員と市民が対面する窓口に、飛沫感染を防止するために、透明のビニールを張るなどして間仕切りを設置することは、既に取り組みを始めていただいておりますが、さらに迅速に進めること。(近隣市の例：我孫子市、船橋市、松戸市)

市長、職員のみなさんには、前代未聞とも言える緊急事態に全身全霊をかけて対応して頂いておりますことは、十分承知しておりますが、新型コロナウイルス感染症との長い戦いに、市民のご理解とご協力・辛抱をお願いするために、以上の要望をいたします。宜しくお取り計らい頂きますようお願い申し上げます。